

# 令和4年度・大洋スポーツクラブ事業計画(案)

## 令和4年度事業計画

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

特定非営利活動法人大洋スポーツクラブ

### 1. 令和4年度事業の方針

総合型地域スポーツクラブとして、「いつでも どこでも だれでも いつまでも」をコンセプトに、地域住民が楽しくスポーツと文化に親しむ機会を提供し、健康づくりとコミュニティーづくりに寄与できる活動を行います。具体的には、コロナウイルス感染や熱中症予防対策を最優先に、安心して参加できる事業の実施します。昨年延期した0周年の記念事業等をも実施し、減少している会員拡大に繋げ組織の存続と発展を目指します。

### 2 令和4年度事業の計画

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

今年度の事業計画は、コロナウイルス感染症や熱中症などにより大幅な変更や中止なども予想されます。以下の計画は現状を前提に計画したものです。

#### 『教室・サークル』活動関係

##### I. スポーツ・文化サークルの運営

- ①ニュースポーツサークルを運営、スポーツの普及と健康増進を図ります。参加者増対策を検討します。  
休日の部の実施項目にフロアカーリングを常設し参加者の拡大を図ります
- ②グラウンドゴルフのサークル活動を行います。参加者の健康づくりに努めます。  
週2回火曜日と木曜日に実施します。
- ③ウォーキングサークル(歩こう会)で毎月近隣地の散策ウォークを実施します。  
サークル独自の年間活動計画広報ビラを作成し、会員拡大に向け活動します。
- ④ノルディックウォーキングサークルの立ち上げを目指します。

##### II スポーツ・文化教室の運営

- ①上宿元気教室を開催し地区高齢者のコミュニティーと健康増進を図ります。
- ②自分の健康づくり教室を運営して健康づくりに寄与します。  
安定した教室運営が出来るよう、参加者拡大のビラを作成し口コミの活動をします。
- ③ニュースポーツ体験会を開催し、ニュースポーツの普及活動に取り組みます。  
クラブが所有する機材を有効活用し、体験会を通じ参加者の拡大を図ります。
- ④ノルディックウォーキングの歩き方教室体験会を計画します。

##### III スポーツ大会・イベントの開催

- ①理事長杯グラウンドゴルフ大会を開催します。月例会の成績で年間順位を決定します。
- ②大洋スポーツクラブ杯グラウンドゴルフ大会の開催方法を変更し実施します。  
本大会は銚田市スポレク大会として、スポーツ推進委員協議会との共催で実施します。
- ③ハイキングを企画し、オープン参加で参加者を募り地域住民の交流の場を設けます。主管は歩こう会  
広く参加者を募りクラブのPRを兼ねて年2回の実施を計画します。
- ④第3回フロアカーリング大会を開催し、ニュースポーツの普及拡大に取り組みます。  
ニュースポーツ体験会を活用し参加者の拡大と定着化を図ります。
- ⑥親子カブトムシ飼育教室を、夏休み特別特別企画として実施します。  
くぬぎの森スポーツ公園内の里山でカブトムシ幼虫を飼育し循環型の教室運営を目指します。

#### IV 各種研修会への参加と開催

- ① 救急救命講習会を開催、非常時の対応について学ぶ場を設けます。
- ② クラブマネジャーの育成に取り組みます。研修会などへの参加を支援します。
- ③ アクティブチャイルドプログラム(ACP)研修会などへの参加を支援します。

#### V クラブに関する広報活動

- ① クラブ・地域活動に関する広報紙発行します。時期・内容などについては役員会で検討します。
- ② ホームページで、クラブの各種情報を発信します。タイムリーに情報を提供できるよう毎月更新に努めます

#### VI スポーツ関連受託事業

- ① スポーツ関連施設の指定管理者をめざします。本年度は準備と実績作りに努めます。
- ② 各種スポーツ大会などの運営受託に向けて実績づくりに努めます。

#### VII その他この法人の目的達成のために必要な事業

- ① 新春交流会を開催します。会員相互の交流と意見交換を目的として実施します。
- ② くぬぎの森まつりを実施します。地域の祭りとして定着できる協力体制づくりに努めます。  
クラブ設立10周年記念行事と位置づけ、くぬぎの森まつり(秋の収穫祭)実施を目指します。
- ③ スポーツ少年団の組織化に取り組みます。地区内の少年団と連携し若年層に働きかけます。  
アクティブチャイルドプログラム(ACP)を活用しスポーツ少年団の結成を目指します。
- ④ くぬぎの森里山づくりを通じた活動を展開します。ボランティア団体との連携に取り組みます。  
くぬぎの森スポーツ公園内を、安心安全で憩える里山と公園づくりに努めます。
- ⑤ その他クラブ存続に必要な事項は積極的に取り組みます。

#### (2) その他の事業

本年度は実施予定がありません。

### 3 事業の実施に関する事項の概要

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者数	受益対象者 参加人数	備 考
① スポーツ・文化 サークルの運営	①ニュースポーツ サークル	毎週水曜日	大洋体育館	2人	会員及び一般	自主事業
		隔週日曜日	大洋体育館	1人	会員及び一般	
	②グラウンドゴルフ サークル	毎週火曜日	くぬぎの森	3人	会員及び一般	自主事業
		毎週木曜日	くぬぎの森	4人	会員及び一般	自主事業
	③ウォーキング サークル	第1日曜日	市内・近隣	5人	会員及び一般	自主事業
② スポーツ・文化 教室の運営	①上宿元気教室	毎週火曜日	上宿公民館	5人	地区内高齢者	社会福祉協議会 補助受給
	②自分の健康づくり 教室	毎週金曜日	大洋公民館 大洋武道館	2人	クラブ会員	外部講師招請
	③ニュースポーツ教室	毎週水曜日	大洋体育館	2人	会員及び一般	ニュースポーツ主 管 体験会として実施
③ スポーツ大 会・イベント の開催	①理事長杯GG大会	第3日曜日	くぬぎの森 中居運動場	3人	クラブ会員	12回の月例会
	②クラブ杯GG大会	第2日曜	大洋運動場	15人	会員と地域住民	スポレク大会共 催 教育委員会後援
	③ハイキング	春秋に実施	那須高原 奥久慈散策	5人	会員と地域住民	歩こう会主管
	④ニュースポーツ大会	3月19日	大洋体育館	15人	会員と地域住民	体験会と同時
④ 各種研修会の開 催	①救急救命講習会開催	11月	くぬぎの森 研修室	1人	クラブ会員	普通救命講習
	②ニュースポーツ体験	9月18日	大洋体育館		会員と地域住民	
	③歩き方教室		くぬぎの森		会員と地域住民	内部指導者
⑤ クラブに関する 広報活動	①広報誌の発行	10月	くぬぎの森ま つり会場配 布	1人	地区住民	広報担当者
	②HPで情報発信	4月～3月 (毎月月末)	毎月更新 事務所	1人	不特定	ボランティア
⑥ スポーツ関連受託 事業	①スポーツ関連施設 指定管理者受託	通年	関係機関	事務局対応		
	②スポーツ大会運営	通年	関係機関	スポ少及び中学校部活関連含め事務局対 応		
⑦ その他この法人 の目的達成のた めに必要な事業	①新春交流・懇談会	2月	銚田市内	1人	クラブ会員	事務局対応
	②くぬぎの森祭り	10月22日 (予)23日	くぬぎの森	50人	実施に向けて地域団体含めた 実行委員会を設けて検討	
	③複合型スポ少組織 化	通年	クラブ事務所	3人	会員を若年層に広げるため、クラブ 内に複合型少年団の組織化準備	
	④里山関連事業	通年	クラブ事務所	3人	早朝ラジオ体操 一般参加者 親子カブトムシ教室	

#### (2) その他の事業

本年度は実施予定がありません。

## 令和4年度・大洋スポーツクラブ収支予算(案)

## 活動予算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

特定非営利活動法人大洋スポーツクラブ

(単位 円)

			摘 要
I 経常収益			
1. 受取会費	100,000		正会員会費 会員会費 賛助会費
2. 受取寄付金	50,000		
3. 事業収益	708,400		教室サークル会費 参加費
4. その他収益	525,000		本田記念財団 社会福祉協議会助成金
経常収益計		1,383,400	1,383,400
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	0		
臨時雇賃金	0		
人件費計	0		
(2) その他経費			
諸謝金	369,200		外部講師謝金 交通費
運営費	500,000		事業運営経費 会議賄い
用具用品費	137,000		スポーツ用品 褒賞費
会場費	101,000		会場借損料
その他経費計	1,107,200		
事業費計		1,107,200	
2. 管理費			
(1) 人件費			
人件費計	0		
(2) その他経費			
保険料	49,000		傷害保険 賠償責任保険
会議費	10,000		議案書 会場費 会議賄い
通信運搬費	116,000		電話 郵便 プロバイダー サーバー
旅費交通費	20,000		交通費
事務用品費	15,000		事務用消耗品
印刷関係費	30,000		用紙 プリンターインク 外部発注
器具備品費	100,000		プリンター更新
諸会費	10,000		総合型スポーツクラブ連絡協議会
委託費	70,000		委託費 謝礼
雑費	5,000		その他
その他経費計	425,000		
管理費計		425,000	
経常経費計			1,532,200
当期経常増減額			-148,800
前期繰越正味財産額			338,916
前期繰り越し			338,916
当期経常増減額			190,116
次期繰越金			190,116